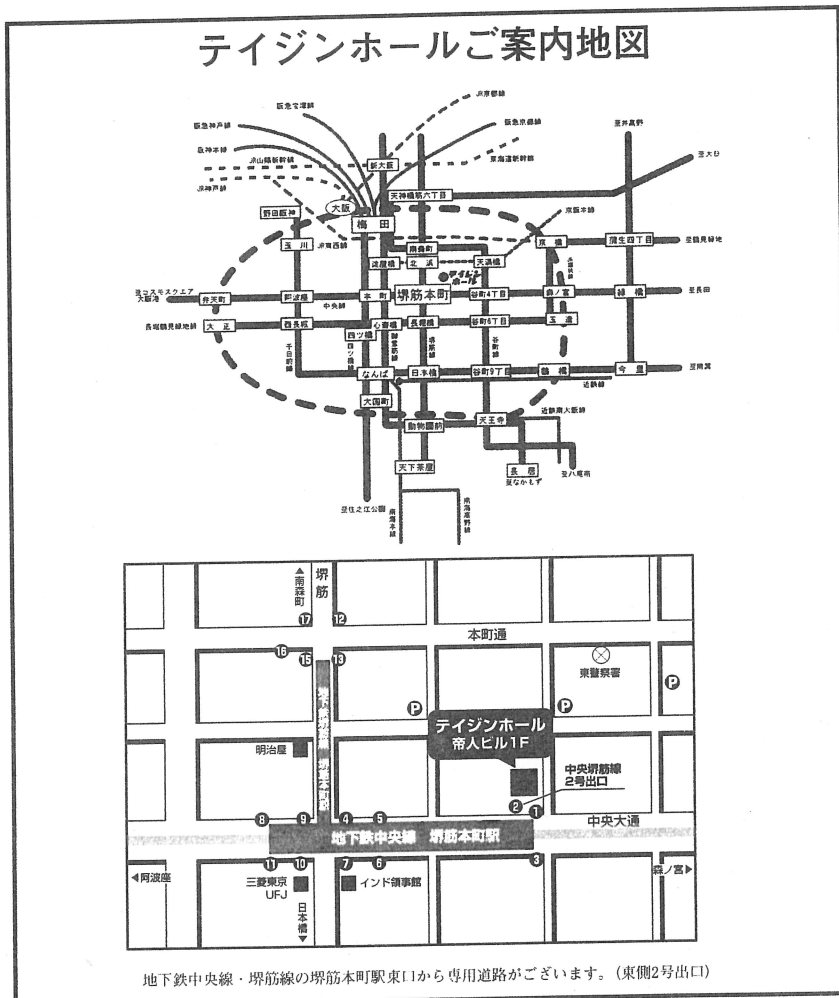


第33回 近畿川崎病研究会

日 時：2009年3月7日(土)
13:00~18:20

会 場：テイジンホール
大阪市中央区南本町1丁目6番7号
TEL 06-6268-3131



共 催 近畿川崎病研究会
帝人ファーマ株式会社

— 近畿川崎病研究会 —

第 33 回 会長

鈴木 啓之

運営委員長

濱岡 建城

運営委員

石田 明人

上村 茂

越後 茂之

荻野廣太郎

萱谷 太

城戸佐知子

清沢 伸幸

小垣 滋豊

米田 正始

坂崎 尚徳

佐野 哲也

篠原 徹

清水 達雄

鈴木 淳子

鈴木 啓之

瀬戸 嗣郎

津田 悦子

寺口 正之

土井 拓

富田 安彦

中川 雅生

西垣 和彦

服部 益治

濱岡 建城

林 環

深谷 隆

松村 正彦

三谷 義英

水戸守寿洋

村上 洋介

森 保彦

吉林 宗夫

顧問

尾内善四郎

川崎 富作

北村惣一郎

横山 達郎

名誉会員

川島 康生

田村 時緒

古庄 卷史

森 忠三

事務局

京都府立医科大学 小児疾患研究施設内科部門内

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町 465

TEL 075-251-5832

—お知らせとお願い—

1. ご参加の方へ

- (1) 開始時間は午後1時です
- (2) 参加費は1,000円です
なお、本会に未加入の方はご入会のほどお願いいたします。
(年会費は3,000円です)
- (3) 本会の日本小児科学会認定医研修単位は、5単位となっています。

2. 演題発表について

- (1) 発表は、PCを用いた口演でのプレゼンテーションとなります。
- (2) 口演時間は、発表6分(討論4分)です。
- (3) ご発表予定時間の1時間前までに、USBメモリーを「データ受付」(ホール1階)にお持ちいただき、受付をお済ませください。
(動画を含む場合は、必ずご自身のパソコンをご持参ください)
- (4) USBメモリーには、ご発表データのみを入れてください。
- (5) ご発表データは、Windows、MachintoshともにPower Pointで作成されたものをご用意ください。
- (6) 使用OS(データ作成時)は以下のもので作成ください。
Windows : XP、Vista
Machintosh : OSX
- (7) アプリケーションソフトは、以下のものをご用意いたします。
Windows : Power Point 2000、2003、2007に対応
Machintosh : Power Point X、2004、2008に対応
- (8) ご使用になれるデータのバックアップを必ずお取りください。
- (9) フォントは標準搭載されているものをご使用ください。
- (10) ファイル名は、プログラムNoと演者のお名前を入れて作成ください。
例) 演題 No14、近畿太郎先生の場合 ファイル名: 14 近畿.ppt
- (11) 口演終了後、舞台袖で、お預かりしたUSBメモリーやパソコンを返却いたします。
- (12) 口演内容は、Progress in Medicine 7月号(ライフ・サイエンス)に掲載する予定です。

※ 後日、ライフ・サイエンスから改めてご連絡いたします

【執筆要領】 400字原稿用紙で12枚以内(図表は別)

【原稿〆切】 平成21年5月1日(予定)

【問合せ先】 (株) ライフ・サイエンス 日村 昭仁

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-67 コスモス青山

TEL 03-3407-8963

開会の挨拶 13:00～13:05

第33回会長 鈴木 啓之 (和歌山県立医科大学 小児科)

セッション1 13:05～13:55

座長 三谷義英 (三重大学大学院医学系研究科 小児発達医学)

1. 堺市における川崎病の疫学調査－発症時の地域間隔差についての検討－

堺市医師会 学校医会

小田 真 日下高志 樋上 忍 岡原 猛 福島久雄

2. 治療前に白血球の増多を認めなかった川崎病患児の検討

市立豊中病院 小児科

土屋浩史 川上展弘 笹瀬紗知子 五十嵐岳宏 河本浩二
吉川真紀子 徳永康行 松岡太郎

3. シェーグレン症候群を合併し冠動脈病変を残した川崎病の1例

大津赤十字病院 小児科部

岩朝 徹 今井 剛 樋口真司 壺井伯彦 伴 由布子
伊吹将吾 廣田常夫

4. 頸部リンパ節腫脹のフォロー中に、発熱と冠動脈変化を認め、川崎病不全型と考えられた1例

社会保険紀南病院 小児科

津野嘉伸 南 孝臣 比嘉明日美 津田祐子 坊岡美奈
泉 鉉吉 宮脇正和

和歌山県立医科大学 小児科

渋田昌一 武内 崇 鈴木啓之 吉川徳茂

5. BCGリンパ節炎を伴い特異なBCG痕変化／リンパ節病変を残した川崎病乳児例

大津赤十字病院 小児科部

壺井伯彦 岩朝 徹 伴 由布子 樋口真司 伊吹将吾
今井 剛 廣田常夫

大津赤十字病院 放射線部

小林久人

セッション2 13:55～14:35

座長 瀬戸 嗣郎 (市立岸和田市民病院 小児科)

6. 川崎病発症時における血清総IgE値、特異的IgE値の検討

金沢医科大学 小児科

林 陽子 秋田千里 北岡千佳 伊藤順庸 佐藤仁志
中村利美 中村常之 犀川 太

7. 退院後に消化管出血を認めた不全型川崎病例

日本生命済生会附属日生病院 小児科

山根秀一 林田雅子 杉本久和

8. 脳症様症状で発症し、急性膵炎を合併した川崎病の1例

市立枚方市民病院 小児科

小田中 豊 中島三和 松村英樹 笠原俊彦 洪 真紀
原 啓太 岡空圭輔 田辺卓也

大阪医科大学 小児科学

森 保彦 玉井 浩

9. けいれん重積型急性脳症を合併した川崎病の1例

日本赤十字社和歌山医療センター 小児科

深尾大輔 芝 剛 芝 朋子 田部有香 内尾寛子
阿部純也 濱畑啓悟 奥村光祥 吉田 晃 田中里江子
百井 亨

セッション3 14:35～15:05

座長 上村 茂(昭和大学横浜北部病院 循環器センター)

10. MRIによる川崎病の冠動脈の経過観察

東京通信病院 小児科

鈴木淳子 北爪 勉

東京通信病院 放射線科

鈴木正子

フィリップスエレクトロニクスジャパンKK

武村 濃

日本赤十字社医療センター 小児科

藪部友良 土屋恵司

11. MRIのBlack Blood法による川崎病後冠動脈内膜肥厚の評価

東京逋信病院 小児科
北爪 勉 鈴木淳子 勝又庸行 稲葉利佳子
フィリップスエレクトロニクスジャパンKK
武村 濃
日本赤十字社医療センター 小児科
菌部友良 土屋恵司

12. MDCTによる川崎病冠動脈病変の評価における課題

近畿大学医学部 小児科学
丸谷 怜 篠原 徹 井上智弘 三宅俊治 竹村 司

特別講演 15:05～16:05

座長 鈴木 啓之(和歌山県立医科大学 小児科)

「ゲノムワイドアプローチによる川崎病感受性遺伝子の同定」

独立行政法人 理化学研究所
ゲノム医科学研究センター 循環器疾患研究チーム
尾内 善広 先生

コーヒーブレイク 16:05～16:25

事務局報告 16:25～16:40

運営委員長 濱岡 建城 (京都府立医科大学小児疾患研究施設内科部門)

セッション4 16:40～17:10

座長 津田 悦子(国立循環器病センター 小児科)

13. 成人発症した川崎病の一例

近畿大学医学部奈良病院 小児科
嶋尾綾子 武野 亨 鶴見文俊 三崎泰志 樋口嘉久
吉林宗夫

14. 川崎病類似の冠動脈瘤を認めた急性心筋梗塞の一例

独立行政法人 国立病院機構大阪医療センター 循環器科
石津宜丸 中川彰人 小出雅雄 岩破俊博 山戸昌樹
佐々木典子 山元博義 廣岡慶治 安村良男

15. 狭窄病変を伴う冠動脈瘤に対する冠動脈バイパス術の1例

国立循環器病センター 心臓血管外科

堂前圭太郎 小林順二郎 戸田宏一 藤田知之 中嶋博之
伊庭 裕 島原佑介 八木原俊克

国立循環器病センター 小児科

津田悦子 白石 公

セッション5 17:10~18:10

座長 荻野廣太郎 (関西医科大学附属男山病院 小児科)
佐野 哲也 (大阪厚生年金病院 小児科)

16. いわゆるリバウンド熱を来した症例の検討

神戸市立医療センター中央市民病院 小児科

廣田篤史 米本大貴 吉田健司 宮越千智 山川 勝
富田安彦

17. 巨大冠動脈瘤を合併した川崎病症例の臨床経過

愛媛大学大学院 小児医学 1)、脳卒中・循環器病センター小児循環器部門 2)

檜垣高史^{1),2)} 山本英一^{1),2)} 松田 修¹⁾ 中野威史¹⁾ 村上至孝¹⁾
小西恭子¹⁾ 太田雅明¹⁾ 高田秀実¹⁾ 長谷幸治¹⁾ 村尾紀久子¹⁾
高橋由博¹⁾ 千阪俊行¹⁾ 森谷友造¹⁾ 石井榮一¹⁾

18. 超大量免疫グロブリン療法導入後の冠動脈病変形成例

—急性期治療の後方視的検討—

三重大学大学院医学系研究科 小児発達医学

大槻祥一郎 三谷義英 大橋啓之 早川豪俊 駒田美弘

19. I V I G 不応の川崎病に対して血漿交換を施行し奏効した2例

兵庫県立塚口病院 小児科

高原賢守 制野勇介 丸茂智恵子 田中裕也 中川 拓
竹下佳弘 飯尾 潤 木村祐次郎 前田真治 松本貴子
芥川 宏 毎原敏郎 野中路子 平尾敬男

兵庫県立塚口病院 小児外科

中條 悟 片山哲夫

兵庫県立尼崎病院 小児循環器科

坂崎尚徳

20. シクロスポリンの投与方法を変更して軽快したガンマグロブリン 不応の川崎病の1例

市立宇和島病院 小児科

村上至孝 小野智子 菊池知耶 長谷幸治 林 正俊

21. 我が国におけるInfliximab療法の現状

—3回のアンケート調査結果から—

日本川崎病学会 Infliximab 療法に関する小委員会

荻野廣太郎	佐地 勉	濱岡建城	菌部友良
豊平おおたこどもクリニック	太田八千雄		
札幌徳洲会病院	大島美保		
札幌医科大学	長谷山圭司		
旭川厚生病院	大久保 淳	梶野真弓	
埼玉県立小児医療センター	田村英一郎		
東邦大学	監物 靖		
順天堂大学医学部附属浦安病院	松原知代		
順天堂大学医学部附属練馬病院	福永英生		
横浜市立大学	今川智之		
北里大学	緒方昌平		
静岡県立こども病院	木村光明		
山梨大学	喜瀬広亮		
富山大学	渡部綾佳	廣野恵一	
近畿大学奈良病院	吉林宗夫		
国立病院機構高知病院	白石泰資		
山口大学	橋本邦生		
済生会山口総合病院	相原真樹子	大山昇一	
九州厚生年金病院	岸本小百合		

閉会の挨拶 18:10~18:20

第33回会長 鈴木 啓之 (和歌山県立医科大学 小児科)

第34回会長 三谷 義英 (三重大学大学院医学系研究科 小児発達医学)

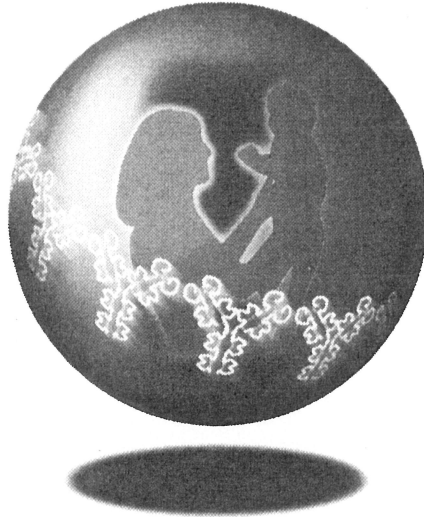
帝人ファーマ株式会社

1. 名称
近畿川崎病研究会（The Society of Kinki Area Kawasaki Disease Research）と称す。
2. 目的
川崎病の病因、病態、病理、治療及び管理等について、基礎及び臨床の両面から研究するとともに、学術集会を開催し、医学の発展に寄与する。
3. 事業
 - 1) 上記の目的を達成するために運営委員会を組織し、学術集会を年1回開催する。
その内容は、広く公表することを原則とする。
 - 2) 学術集会は参加費を徴収し、その運営に充てる。
 - 3) 本事業は、帝人ファーマ株式会社との共催とする。
4. 運営委員会
 - 1) 本会に次の役員を置く。

①運営委員長	1名
②運営委員	若干名
③会計	1名
④監事	1名
⑤顧問	
⑥名誉会員	
 - 2) 運営委員及び運営委員長は、運営委員会が推薦、選出する。
 - 3) 運営委員長は、本会を統括し、その任期は3年とする。なお、再任をさまたげない。
 - 4) 運営委員は年齢の上限を満65歳とし、満65歳に達した年度末（3月）をもって退任とする。
 - 5) 運営委員会は、学術集会を主宰するための会長の選出を行う。会長の任期は1年とする。
 - 6) 運営委員会は、会長を補佐し、学術集会の企画、運営及び記録集の発行等を行う。
また、本会運営に関する重要な事項を審議する。
 - 7) 会計及び監事は運営委員の中から推薦、選出し、任期を3年とする。
 - 8) 会計は運営委員会において前年度の会計報告を行う。
 - 9) 監事は本会の会計及び資産を監査する。
 - 10) 名誉会員は運営委員長が運営委員会にはかり、推薦される。
名誉会員は原則満65歳以上の運営委員を退任した者を対象とし、本会に特に貢献のあった者とする。
 - 11) 顧問は運営委員長が運営委員会にはかり名誉会員の中から会の運営上必要と認めたとし、運営委員会に出席できる。
5. 会員
 - 1) 本会に入会希望する者は氏名、住所、所属を明記し、本会事務局に申し込む。
 - 2) 退会しようとする者はその旨を本会に通知する。また、年会費を3年間滞納したときは退会したものとみなす。
6. 学術集会の発表者の制限
学術集会で発表できる者は本会の会員に限定する。特別講演など当番会長が承認した場合はこの限りではない。
7. 会計
 - 1) 本会の会計は年会費、参加費及びその他の収入をもって充て、会計年度は4月1日から翌年3月31日までとする。
 - 2) 年会費は3,000円/人、参加費は1,000円/人とする。
継続して学術集会に参加の意思がなく、本会の会員登録を希望しない場合は参加費（1,000円/人）のみの学術集会への参加を認める。
 - 3) 名誉会員および顧問は年会費を要しない。
8. 会則の変更
本会則は、運営委員会の議決を経て変更することができる。
9. 事務局
本会の事務局は運営委員長の所属施設に置くものとする。
学術集会などの開催準備、運営の事務局代行として株式会社協和企画大阪支社に事務を委託する。
 - 1) 事務局
京都府立医科大学小児疾患研究施設内科部門
〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町 465
 - 2) 学術集会などの開催準備、運営の事務局代行
株式会社協和企画大阪支社
〒541-0045 大阪市中央区道修町 2-2-6 TEL：06-6231-6770

Kenketsu Venilon®-I

Intravenous Immunoglobulin



血漿分画製剤 | 特定生物由来製品 | 指定医薬品 | 処方せん医薬品^{注)}

献血 静注用免疫グロブリン製剤



献血ベニロン®-I

〈乾燥スルホ化人免疫グロブリン〉

薬価基準収載

生物学的製剤基準 注) 注意 - 医師等の処方せんにより使用すること

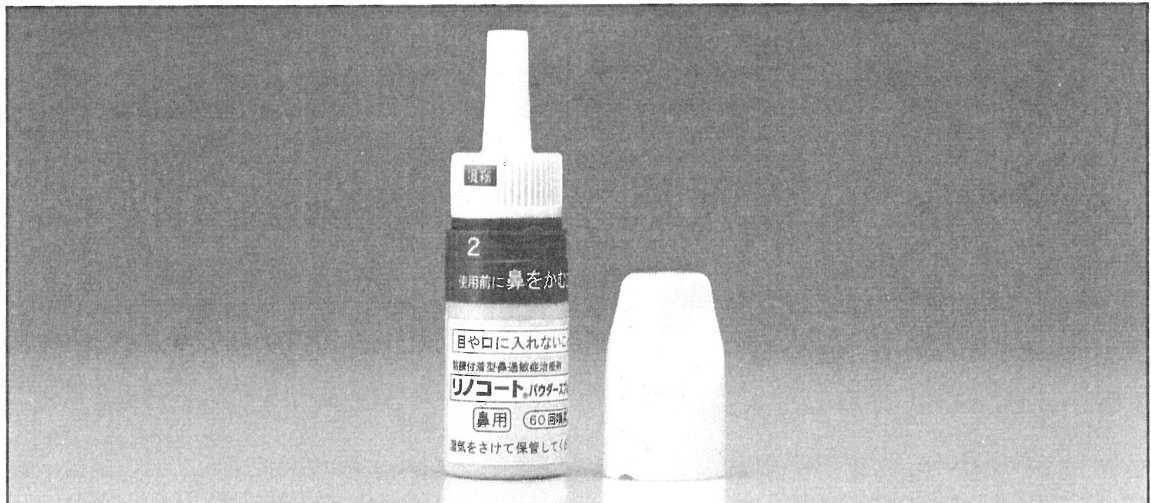
販売 TEIJIN 帝人ファーマ株式会社

〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号
資料請求先: 帝人ファーマ(株) 学術情報部

製造販売 化血研 株式会社
〒100-8585 東京都千代田区千代田1-1-1
資料請求先: (株)化学及血清療法研究所営業管理部

■「効能・効果」「用法・用量」「禁忌・原則禁忌を含む使用上の注意」等は
製品添付文書をご参照ください。

VEN902(M1)0711改6 作成年月2007年11月



粘膜付着型鼻過敏症治療剤

薬価基準収載

指定医薬品
処方せん医薬品^{注)}

リノコート® パウダースプレー鼻用

Rhinocort® Powder Spray 〈ベクロメタゾンプロピオン酸エステル製剤〉

効能・効果、用法・用量、禁忌・原則禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。

注) 注意 - 医師等の処方せんにより使用すること

製造販売元 **TEIJIN** 帝人ファーマ株式会社 (資料請求先) 学術情報部
〒100-8585 東京都千代田区霞が関3-2-1

RCM802 (AU) 0807